

北区見守り配達ネット通信



コロナ禍でも「私たち、見守り活動頑張ってます(^-^)」

新型コロナウイルスがなかなか収束しない中、配食事業者さんの「コロナ対策」についてお話を伺いました。



配食ボランティア
むつみさん

新型コロナウイルス感染が広がる中、配食サービスの継続について予め対応策を検討準備していました。緊急事態宣言間は火・金の夕食は中止としました。作業所利用者職員は検温・問診による健康管理、マスク着用と手指消毒の徹底を図っています。

配食を利用して頂いているご高齢者からは「外出もままならない時期に本当に助かります」「いつもと変わらない手作りのお弁当ありがとうございます」とのお声を頂いています。緊急事態宣言解除後は、調理スタッフの方々には不安のない範囲で健康管理に十分注意して頂き、距離の確保・マスク着用・手洗い手指消毒等、新たな生活様式に対応しつつ、むつみ全体の施設運営も継続して参りたいと思います。

緊急事態宣言発令直後から、お弁当は置いて対応する事になりました。直接お客さまと触れ合わないよう「ここに置いておきますね」と声掛けを行い、安否確認を実施しています。手渡しの配達を希望されている方は、配達時はマスクの着用と消毒を行った上で、引き続き対応しています。さらに、出勤時には必ず体温・体調の確認を行い、2ヵ月は問診票を事業所に保管し、体調管理を徹底しています。現在も新型コロナウイルスを心配している方が多く、置き配は継続していますが、今後もお客さまの声にお応えして、少しずつ手渡しでの対応も行っていきます。



ワタミ宅食さん

夏場の高齢者の見守りについて…

～2019年度北区高齢者孤独死の件数～

原谷包括圏域：3件/紫竹包括圏域：3件/柊野包括圏域：1件/鳳徳包括圏域：4件/紫野包括圏域：5件

新型コロナウイルスの影響で、外出や人との接触を控えている高齢者が多く見られます。また、マスクの着用は感染リスクを予防できる一方で喉の渇きに気付くにくく、これからの季節は脱水で倒れる危険性もあります。一人暮らしの高齢者はSOSが出にくく、最悪の事態を招く可能性もあるため、ますます安否確認の必要性が高まっています。このコロナ禍での各事業者さんの見守り活動は、高齢者の皆さんの安心につながっています！！

見守りありがとう



高齢サポート（地域包括支援センター）とは…

介護・福祉・健康・医療など総合的な相談窓口です。北区内には以下の5ヵ所が設置されています。

●原谷 463-1686（担当：小野郷・中川・鷹峯・金閣・衣笠・大將軍）

●紫竹 495-6638（担当：大宮・紫竹・待鳳）

●鳳徳 223-3511（担当：鳳徳・紫明・出雲路）

●柊野 712-8621（担当：雲ヶ畑・柊野・上賀茂・元町）

●紫野 494-3346（担当：楽只・柏野・紫野）

※受付時間は平日の9時～17時です